

# 平成22年度事業報告書

法人の名称 NPO法人 子どもがかける虹の森ネットワーク

## 1 事業の成果

平成22年度は、次の成果を上げることが出来ました。

- ① 自然環境保全再生事業に関しては、海外の参加者(インド、エクアドル、カメルーン、ガーナ、ペルー)が事業予定地の生態系情報、樹種等の現地調査を行い、資料作成に取り組みました。また、月2回スカイプ会議を行い、各国の進捗状況の報告と事業計画書作成準備のための情報交換をしました。
- ② 自然環境に関する教育及び普及啓発事業に関しては、各国の参加者が自国の環境教育に関する情報収集と資料作成に取り組み、月2回のスカイプ会議で、進捗状況の報告と計画書作成のための意見交換を行いました。ガーナでは、クマシ市周辺の小学校6校の協力を得て、試験的に授業のカリキュラムの中で月2回の環境教育の授業を行い、気候変動と森の役割についてインターンが教えました。学年末には、各学校で植樹祭を行うとともに、学校対抗の気候変動に関する知識競技会、絵画と詩のコンテストを行い、その成果に関する記事がガーナの全国紙に掲載され、反響を得ました。また、ペルーでは、クスコ周辺の小学校で、平成22年1月の洪水による災害で家屋や身の回りの物をなくした子供たちに、学用品や服などの寄付をし、森の重要性を教える環境教育と植樹を行いました。
- ③ 子どもと地域住民のネットワーク事業に関しては、情報交換・相互支援の場としてのウェブサイトの作成に向けて検討・準備を始めました。さらに、平成23年3月11日に起きた東日本大震災で被災した子供たちのための寄付金や海外の子どもたちからの応援メッセージ、絵画、ビデオなどが届き、それを被災地の子どもたちに届けて子ども同士の情報交換と支援ネットワークを作る準備を始めました。
- ④ 地域社会の自然循環型システムへの転換及び生活自立支援事業に関しては、各国が現地でその土地に本来できる農作物、工芸品、自然エネルギーの可能性などの現地調査を行い、その土地にあった自然循環型システム作りの提案書の作成準備をしました。そして、月2回のスカイプ会議で進捗状況の報告と意見交換を行いました。
- ⑤ 天然由来の製品の普及啓発事業に関しては、現地でその土地でとれる天然由来の製品に関して調査し、その結果をもとに月2回のスカイプ会議で将来の事業の可能性について意見交換を行い、資料作成あるいは準備をおこないました。
- ⑥ 緊急災害支援活動として、日本では、平成23年3月に起きた東日本大震災で被災した子供たちのための寄付金と、海外の子どもたちからの応援メッセージや絵を集め、平成23年度に被災地の小学校に送り、日本と海外の子どもたちのネットワークを作る準備をしました。
- ⑦ 日本では、インドのタミルナドゥ農業大学および、北グジャラット大学から平成25年5月に行われた会議での基調講演の招待に応じ、「森林生態学と気候変動に関するワークショップ」と「持続可能な社会のための卓越性に関する会議」で当NPOの理念と事業構想とこれまでの活動に関する発表の準備を行いました。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 自然環境保全再生事業

- ・内容 各参加国で生態系現地調査と植林の種の選定及び必要な情報収集を行った。全体としては、月二回スカイプ会議を行い、進捗状況を報告し、資料の作成に取り組んだ。  
     ガーナ： 資料作成中  
     ペルー： 資料作成中  
     カメルーン： 資料作成中  
     エクアドル： 現地調査中  
     インド： 現地調査中
- ・日時 現地調査 通年、全体スカイプ会議 月2回
- ・場所 ガーナ、ペルー、カメルーン、エクアドル、インド、日本
- ・従事者人員 10人
- ・対象者 アフリカ、東南アジア、南アメリカ、日本の担当者
- ・支出額 47,839円

## ② 自然環境に関する教育及び普及啓発事業

- ・内容 各参加国の環境教育のカリキュラムの調査と資料作成を行い、スカイプ会議で調査報告と情報交換を行った。ガーナとペルーでは実際に小学校において試験的な環境教育を行った。  
     ガーナ： クマシ市近辺の小学校6校にて月2回、気候変動と森の役割についての環境教育を行い、学期末に植樹祭とクイズ大会、絵画や詩のコンテストなどを行った。  
     ペルー： 洪水被害のあったクスコ近辺の小学校に学用品や服などを寄付し、環境教育と植樹を行った。  
     カメルーン： 資料作成中  
     エクアドル： 現地調査中  
     インド： 現地調査中
- ・日時 現地調査 通年、全体スカイプ会議 月2回
- ・場所 ガーナ、ペルー、カメルーン、エクアドル、インド、日本
- ・従事者人員 10人
- ・対象者 ガーナ、クマシ市近郊の6つの小学校の生徒、ペルー、クスコ近郊の地域住民と子どもたち、各国の担当者
- ・支出額 16,431円

## ③ 子どもと地域住民のネットワーク事業

### ア 自然循環型社会に関する情報ネットワーク事業

- ・内容 自然環境と共生しながら生活する自然循環型社会の実現に向けて、世界の子どもと地域住民の情報交換・相互支援の場としてのウェブサイト・会報の作成に関して、各国とスカイプ会議で検討をし、準備をすすめた。
- ・日時 通年
- ・場所 ガーナ、ペルー、カメルーン、エクアドル、インド、日本
- ・従事者人員 10人
- ・対象者 アフリカ、東南アジア、南アメリカ、日本の担当者
- ・支出額 5,057円

#### ④ 地域社会の自然循環型システムへの転換及び生活自立支援事業

##### ア 自然循環型システムへの転換及び生活自立支援調査研究事業

- ・内容 その土地に本来できる作物・工芸品などの研究と市場調査及びその土地に合った自然循環型システムへの転換に関して、スカイプ会議で各国での状況提供と意見交換を行った。
- ・日時 通年
- ・場所 ペルー、ガーナ、カメルーン、エクアドル、インド及び日本
- ・従事者人員 10人
- ・対象者 ペルー、ガーナ、カメルーン、エクアドル、インド及び日本の担当者
- ・支出額 5,057円

#### ⑤ 天然由来の製品の普及啓発事業

##### ア 天然素材のロゴ入りグッズ販売事業

- ・内容 NPO法人のロゴ入りグッズの製作と販売に関してのアイデアをスカイプ会議で各国の担当者と話し合った
- ・日時 通年
- ・場所 ペルー、ガーナ、カメルーン、エクアドル、インド及び日本
- ・従事者人員 10人
- ・対象者 ペルー、ガーナ、カメルーン、エクアドル、インド及び日本の担当者
- ・支出額 1,265円

##### イ 天然由来の製品の普及啓発事業

- ・内容 その土地に本来できる天然由来の製品の開発と市場調査に関してスカイプ会議で意見交換を行った。
- ・日時 通年
- ・場所 ペルー、ガーナ、カメルーン、エクアドル、インド及び日本
- ・従事者人員 10人
- ・対象者 ペルー、ガーナ、カメルーン、エクアドル、インド及び日本の担当者
- ・支出額 1,264円

平成 22 年 度 収 支 計 算 書  
(特定非営利活動に係る事業会計)

平成 22 年 6 月 21 日 から 平成 23 年 3 月 31 日 まで

特定非営利活動法人の名称	NPO法人 子どもがかける虹の森ネットワーク
--------------	------------------------

科 目	金 額	
<b>I 収入の部</b>		
1. 会費・入金収入		
① 入会金	6,000	
② 年会費(平成22年度)	15,000	
2. 事業収入		
① 自然環境保全再生事業	0	
② 自然環境に関する教育及び普及啓発事業	0	
③ 子どもと地域住民のネットワーク事業	0	
④ 地域社会の自然循環型システムへの転換 及び生活自立支援事業	0	
⑤ 天然由来の製品の普及啓発事業	0	
当期収入合計(A)	21,000	
設立準備金	0	
収入合計(B)	21,000	
<b>II 支出の部</b>		
1. 事業費		
① 自然環境保全再生事業費		
本・資料	18,900	
交通費	4,060	
会議通信費	20,229	全体の40%
会議費	4,650	
② 自然環境に関する教育及び普及啓発事業費		
交通費	1,260	
会議通信費	15,171	全体の30%
③ 子どもと地域住民のネットワーク事業		
会議通信費	5,057	全体の10%
④ 地域社会の自然循環型システムへの転換 及び生活自立支援事業		
会議通信費	5,057	全体の10%
⑤ 天然由来の製品の普及啓発事業		
会議通信費	2,529	全体の5%
2. 管理費		
事務所賃貸料	270,000	30,000円x9カ月
事務用消耗品費	9,839	コピー代、プリンターインク、文具
交通費	1,590	
通信費	6,764	切手代、インターネット、電話(全体の5%)
光熱水費	10,256	電気代
役員報酬	0	
雑費	2,000	印紙代
当期支出合計(C)	377,362	
当期収支差額(A) - (C)	△ 356,362	
次期繰越収支差額(B) - (C)	△ 356,362	

財 産 目 録

(特定非営利活動に係る事業会計)

平成23年3月31日現在

特定非営利活動法人の名称	NPO法人 子どもがかける虹の森ネットワーク
--------------	------------------------

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	現金手許有高	0	
普通預金	三井住友銀行港北ニュータウン支店	31,000	
	ゆうちょ銀行	135,000	
	流動資産合計		166,000
2 固定資産			
器具備品		0	
土地		0	
	固定資産合計		0
	資産合計		166,000
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	(東日本大震災義援金)	114,000	
前受金	(平成23年度会費6人分)	30,000	
短期借入金	(平成22年度内諸経費)	378,362	
	流動負債合計		522,362
2 固定負債			
長期借入金		0	
	負債合計		522,362
	正味財産		-356,362

## 貸 借 対 照 表

(特定非営利活動に係る事業会計)

平成 23 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人の名称	NPO法人 子どもがかける虹の森ネットワーク		
科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	0		
普通預金	31,000		
普通預金	135,000		
流動資産合計		166,000	
2 固定資産			
器具備品	0		
土地	0		
固定資産合計		0	
資産合計			166,000
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	114,000		
前受金	30,000		
短期借入金	378,362		
流動負債合計		522,362	
2 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			522,362
III 正味財産の部			
正味財産			-356,362
(当期正味財産減少額)			-356,362
負債及び正味財産合計			166,000

## 役 員 名 簿

前年度において役員であったことがある者全員の氏名及び住所又は居所  
並びに前年度における報酬の有無を記載した名簿

特定非営利活動法人の名称	NPO法人 子どもがかける虹の森ネットワーク
--------------	------------------------

役名	氏名	住所又は居所	当該事業年度中の 就 任 期 間	報酬を受けた 期 間	備考
理事	佐藤 なつえ	横浜市中区日ノ出町1丁目 36番地マンションアクロス 1003号室	平成22年6月21日～ 平成23年3月31日	なし	理事長
理事	赤崎 和郎	横浜市中区野毛町3丁目 143番地柴ニックハイム205 号室	平成22年6月21日～ 平成23年3月31日	なし	副理事長
理事	山下 梯子	横浜市港北区篠原町2557 番地	平成22年6月21日～ 平成23年3月31日	なし	
理事	家崎 みな子	横浜市港南区日限山二丁 目18番8号	平成22年6月21日～ 平成23年3月31日	なし	
監事	宮崎 千枝	横須賀市鴨居2丁目54番 12号	平成22年6月21日～ 平成23年3月31日	なし	

社員のうち10人以上の者の名簿

特定非営利活動法人の名称	NPO法人 子どもがかける虹の森ネットワーク
氏名	住所又は居所
佐藤 なつえ	横浜市中区日ノ出町1丁目36番地マンションアクロス1003号室
赤崎 和郎	横浜市中区野毛町3丁目143番地柴ニックハイム205号室
山下 梯子	横浜市港北区篠原町2557番地
家崎 みな子	横浜市港南区日限山二丁目18番8号
宮崎 千枝	横浜市鴨居2丁目54番12号
青木 多恵	静岡市葵区駒形通1丁目2番30エンブルシティー七間町402号
大井 光子	横須賀市浦上台2丁目27番8-813
稲垣 高榮	逗子市逗子1丁目6番27
小林 くみ子	横浜市南区弘明寺町字北ノ前44
青木 昭子	静岡市葵区瀬名5丁目18番17号